



Yonago East Weekly

【 素敵なロータリアンを目指そう、思いやりの心を持って 】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/長棟信泰 ●幹事/永島正道 ●会報/赤山俊寛

出席報告

会員数 109名
出席数 70名 欠席数 32名
出席免除会員 7名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 佐田山(有)君
宮本(守)君 高橋君 小谷君
出席率 70.09 %

ビジター

メイクアップ 会員 2名 (10/22地区大会記念チャリティゴルフ)
理事 2名 (10/23 地区大会RI会長代理歓迎晩餐会他)
会員22名 (10/24 地区大会本会議)
会員 5名 (10/25奉仕プロジェクトロータリー奉仕デー企画会議(ZOOM))
会員 8名 (10/27 親睦活動委員会)
岩崎(浩)君 (11/2第1回次期ガバナー補佐会…津山鶴山ホテル)
理事11名 (11/4 第5回 理事会)
会員16名 (11/5 第1回 家庭集会 … 芙蓉別館)
会員26名 (11/7 第19回作文コンテスト表彰式)

会員 5名 (11/8 奉仕プロジェクトロータリー奉仕デー
企画会議(ZOOM))

今週のお祝

結婚記念日祝: 4日種田 進 君 6日上森英史君
13日荒川雄司君 15日永見吉平君
15日井上卓也君 16日多林美智子君
19日今出上 君 26日小掠賢志君
28日小林慎一君 30日古杉 淳 君
31日林 俊一君

スマイルBOX 25,000 円 (482,000 円)

本人誕生日祝: 田淵君、多林君
結婚記念日祝: 松浪君、種田(進)君、上森君
多林君、今出君、小林君
古杉君、林君、

創立記念日祝: 田淵君
出席100%祝: 37年 杉原(弘)君
33年 田淵君

会長挨拶

10月17日の中海一斉清掃が中止となり残念でした。
11月7日には作文コンテストの表彰式がありますが、
新人の方には是非、また多くの会員に米子東ロータリー
クラブの伝統ある事業に立ち会っていただけたら
と思います。先週は鳥取市で地区大会が行われました
が、コロナ対策で梨花ホールと小ホールに分かれての
開催でした。23日には指導者セミナーがあり、鳥取の
木谷さんという方の吉田璋也についてのお話を聞きました。
鳥取、鳥根、岡山というのは民藝の聖地ということで、
吉田璋也が率先して民藝運動を起こしていた
そうで感銘を受けました。

24日は三浦瑠麗さんという若い才能ある方のお話
でした。日本の民衆主義に対して警鐘を鳴らしておられ
ました。若い人の視点で分断などの問題についても語
っておられました。それから眞子様のご結婚について
ですが、ああいう形は日本人として恥ずかしいと感じ
ました。世界に誇り得るロイヤルファミリーのご結婚
であるのにきちっとしたことができなかつたわけです。
民主主義の話と合わせて考えさせられました。

幹事報告

- (1) R財団寄付ベネファクター表彰 … 長棟会長
- (2) 2020-21年度 地区目標達成賞受賞(会員増強)

- (3) 10/14 米子松蔭高等学校インターアクトバザー開催
5,785円売上 … 今後の活動費に充当
- (4) 「ロータリー日本100年史」頒布促進のお願い
(頒布価格1部6,600円)
- (5) 鳥取県より「令和3年度令和新時代創造県民運動
活動表彰」に係る対象事業の募集について
- (6) R1第2690地区 2020-21年度 直前ガバナー
菊池捷男様より著書のお知らせ
- (7) 例会終了後、親睦委員会開催
- (8) 他クラブの例会変更等、掲示板を確認して下さい
当クラブ 11/3(祝)・11/10(水) 休会



【 次回プログラム 】

- 17日 「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会
「私の職業」について 鷲見康平 会員
長田安弘 会員
24日 「東京オリンピックボランティアから見た
裏舞台」 米子松蔭高等学校 劉先生



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

<本日のプログラム>

「ヤングケアラー支援について」

N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社
代表 神戸 貴子 氏



本日はお招きいただきましてありがとうございます。「100家族100通りの介護がある。あなたのこれからの生活を考えましょう」という題でお話を進めます。弊社の概要ですが、7年前に創業いたしました本社は米子ですが、全国各地に拠点があります。一般的な介護事業だけでなく、病院を受診なさる際、一緒にお医者さんの話を聞きそれを遠方にお住いのお子さんなどにお伝えするようなサービスをやっています。「わたしの看護婦さん®」というサービス名で、看護師や介護士の資格があるのに働いていない人の、すき間時間を活かしサービスを必要とする方のニーズとマッチングさせる事業です。「親孝行サービス」と言っています。

昨年、NHKの「あさイチ」に私たちのサービスが取り上げられましたので、それを一部カットしてご覧いただきます。

～ DVD ～

ご覧いただいたのは歯医者さんの例でしたが、今深刻なのは治療法の選択です。コロナ禍で、ご家族が県外から帰って来られても2週間は病院に立ち入れないなど、厳しい制約があります。そこに私たちが入らせていただいて、医療機関によっては診察室から私たちがリモートでZOOMをつないで対応させていただきます。

さて本日は、大きく3つのことをお伝えします。1つは、ピンピンコロリは幻だよ、ということ。2つ目は大好きな自宅に住み続けるためのポイント。そして3つ目が、ヤングケアラーのご支援をいただきたいということです。

皆様に質問です。「ご自分の老後を考えてことがありますか？」まだまだお若いので、何とかかなるとか、出たとこ勝負とか思っているんじゃないですか？出たとこ勝負では、負けるんですね。なるようにならない例を沢山見てきました。ピンピンコロリは幻なんです。健康寿命と寿命の間に16～17年あるんです。ピンピンの後にヨロヨロがあり、そしてドタリがきてようやくコロリなんです。

ピンピンの時期に備えておくべきなんです。施設見学とか介護保険について勉強してほしいです。そして自分がどうしたいのか、家族と話す時期でもあるんです。ヨロヨロの段階は、まだピンピンに戻ることができます。ドタリの時期は、入退院を繰り返す時期です。そして自分の意思にかかわらず家族が意思決定に関わってくる時期です。ですからピンピンの頃に自分の考えを伝えておかないと、満足なエンディングができないのです。

皆さんは施設派ですか、自宅派ですか？大体7割の方が自宅派です。そこで自宅で住み続ける為にフレイル予防をする、これはヨロヨロにならないように予防することです。そのために食生活や歩くことなどに気を付けてほしいです。たんぱく質をたくさん摂ってください。日光浴をしてください。得意なことを続けて地域を助ける側になってください。介護保険に頼るとできていたことができなくなります。不便なことこそリハビリだと思ってください。実は私も地域を助けることを始めました。ヤングケアラーの支援です。私の2人の子供は既に都会に出ています、帰って来るかどうかわかりません。ヘルパーさんは不足しています。ですからいざという時のために、普段から地域を助ける側になってください。

さて、最近ヤングケアラーのことがよく話題になります。家族のお世話をして生活に影響を受けている18歳未満の若者のことです。学校が終わると部活もできずすぐ家に帰り、友達もできず不登校になったりします。18歳を超えると若者ケアラーと呼ばれ、就業との両立が悩みになります。これが皆様と関わってくるのですが、彼らの多くが正規雇用につけません。私たちはこの若者たちを助けなければいけないと思っています。

この春に出た国の調査によると、中学生のヤングケアラーは17人に1人の割合でいます。毎日、平均4時間を介護に費やしています。勉強時間も睡眠時間も削り、学力低下や不登校になりやすいです。鳥取県はこの春から電話による相談窓口を設けました。私たちはLINEの相談窓口をやってみました。8月と9月で登録者数67名、919回のやり取りがありました。電話窓口には1件も相談がないとのことでした。若者にあった窓口が必要と感じています。相談が多い時間帯は20時から23時です。恐らく一息ついたころですね。相談は男の子より女の子が4倍多く、一番多いのが高校生の女子です。自殺者も女子高校生が多いと言われてます。高校生の女子は、いろんな不安を抱えている、といえます。内容は、介護の問題と同じように家族の問題を相談してきます。介護に追われる親の愚痴を毎日聞かされる、学校に行っても家族のことが心配でならない、両親や両親と祖父母の折り合いが悪く仲裁している、経済的理由で祖父母が施設には入れない、進学をあきらめている、そういった相談を受けて9件、行政に紹介しました。9月以降も相談が続くので、やめるにやめられない。子供たちに聞いてみると、やはり必要とされていることがわかりました。ヤングケアラーの問題は家族の問題だけでなく、周囲の私たちにもあると思います。それは周囲の大人の価値観です。私も障害者の妹さんのお世話をしているお姉さんのお子さんを見て、凄いねと称えたことがあったんですが、この運動を始めてからその子の心情を考えた時、ハッとしました。その子の許容量を超えてしまっている当事者の気持ちに寄り添えていない例が、たくさんあるんです。

相談できる場所がないことも問題です。私たちは先週からまた再スタートしましたが、県外からの相談も多いです。介護を理由に子供たちが夢をあきらめています。この夢をあきらめさせない世の中をつくりたいと思っています。自立した若者をつくりたいと思っています。ヤングケアラーへのご支援をお願い致します。まず知ることから、よろしく願いいたします。

本日は、ご清聴ありがとうございました。